



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑電通株式会社

コード番号 7505 URL http://www.fusodentsu.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 児玉 栄次

問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 有富 英治 (TEL)03(3544)7211

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	26,400	△5.0	△240	—	△137	—	59	△84.3
29年9月期第3四半期	27,785	△0.2	414	△9.3	505	△7.1	376	29.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	41.02	—
29年9月期第3四半期	262.14	—

※平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	21,314	7,435	34.9
29年9月期	22,653	7,602	33.6

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 7,435 百万円 29年9月期 7,602 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	4.00	—	42.00	—
30年9月期	—	40.00	—		
30年9月期(予想)				80.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成30年9月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当40円00銭、記念配当40円00銭

※平成29年9月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭、特別配当2円00銭

※平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、平成29年9月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 平成30年9月期の業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	0.2	100	△71.1	220	△53.6	320	△4.7	222.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	1,740,245株	29年9月期	1,740,245株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	299,549株	29年9月期	304,043株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	1,438,444株	29年9月期3Q	1,436,436株

※平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動、各国の政策動向の影響により依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が位置するICT(情報通信技術)業界においては、政府による企業のICT投資を推進・支援する動きが活発化するとともに、クラウドやビッグデータ、AI、IoT等の利活用の拡大が期待され、企業のICT投資は増加傾向で推移しております。

このような環境の中、お客様のICTソリューションパートナーとして「誠心誠意 お客様のお役に立つ愛される企業」を企業理念として、お客様の特性にあった得意ビジネスの拡販に取り組むとともに、i-Constructionに対応したソリューション「SasaL 図面管理サービス」の提供を開始するなど新しいビジネスにも積極的に取り組んでまいりました。また、ICTコンプライアンスの事例を活用し新規商談の開拓、既存顧客の深耕拡大に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の受注高につきましては、26,610百万円となり前年同四半期に比べ1,054百万円(4.1%)増加いたしました。

売上高につきましては、電子機器部門およびOA機器部門において公共ビジネスが順調に推移したものの、通信機器部門において既設更新案件の先送りや防災行政無線などが伸び悩んだことから26,400百万円となり前年同四半期に比べ1,384百万円(5.0%)の減収となりました。

部門別の売上高につきましては、

通信機器部門	9,474百万円	(前年同四半期比	20.1%減)
電子機器部門	7,660百万円	(前年同四半期比	7.6%増)
OA機器部門	3,587百万円	(前年同四半期比	6.9%増)
保守部門	5,678百万円	(前年同四半期比	4.1%増)

となりました。

利益につきましては、競合他社との価格競争の激化により粗利益率が悪化していることに加え、昨年納品した大型システム開発プロジェクト案件についてレスポンス、仕様等について顧客より不具合があるとの指摘を受け対応しておりましたが、品質・仕様、コスト、スケジュールについて最終的に合意に至らず対応の中止を決定しこれに伴い機器および開発費相当額を当第3四半期において計上したことから

営業損失	240百万円	(前年同四半期	営業利益	414百万円)
経常損失	137百万円	(前年同四半期	経常利益	505百万円)
四半期純利益	59百万円	(前年同四半期比	84.3%減)	

となりました。

#### <当社の四半期業績の特性について>

ICT(情報通信技術)業界に位置する当社の業績動向は季節的変動が大きく、システム導入および更新時期が、お客様の決算期である3月、9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高は第2四半期、第4四半期に集中、増加する特性があります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、21,314百万円となり、前事業年度末に比べ1,338百万円減少となりました。主な減少理由といたしましては、現金及び預金が1,272百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,822百万円、仕掛金が614百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、13,878百万円となり、前事業年度末に比べ1,171百万円減少となりました。主な減少理由といたしましては、支払手形及び買掛金が1,092百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、7,435百万円となり、前事業年度末に比べ166百万円減少となりました。主な減少理由といたしましては、その他有価証券評価差額金が121百万円減少したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の業績予想につきましては、平成29年11月10日付「平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成30年8月9日)公表の「プロジェクト損失(営業損失)の見込みおよび平成30年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,077,533	5,349,556
受取手形及び売掛金	5,775,713	3,953,327
有価証券	2,700,000	2,700,000
商品	26,953	17,223
仕掛品	2,221,496	1,606,844
繰延税金資産	416,728	405,206
その他	602,834	621,361
貸倒引当金	△53,903	△53,237
流動資産合計	15,767,356	14,600,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,178,258	1,180,045
減価償却累計額	△841,237	△854,578
建物及び構築物（純額）	337,020	325,466
土地	189,993	189,993
その他	844,846	773,245
減価償却累計額	△707,162	△666,202
その他（純額）	137,683	107,042
有形固定資産合計	664,697	622,502
無形固定資産		
ソフトウェア	63,772	108,618
その他	23,886	23,691
無形固定資産合計	87,658	132,310
投資その他の資産		
投資有価証券	4,165,786	3,965,829
リース投資資産	512,330	502,488
差入保証金	371,809	380,955
繰延税金資産	1,002,512	1,015,245
その他	102,800	115,836
貸倒引当金	△21,616	△20,834
投資その他の資産合計	6,133,623	5,959,519
固定資産合計	6,885,979	6,714,332
資産合計	22,653,336	21,314,614

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,649,872	5,557,114
1年内返済予定の長期借入金	—	40,000
未払法人税等	123,288	22,558
前受金	449,685	616,585
賞与引当金	843,400	374,190
受注損失引当金	42,556	1,712
その他	1,542,701	2,024,147
流動負債合計	9,651,503	8,636,308
固定負債		
長期借入金	500,000	460,000
長期末払金	1,225,699	1,064,756
退職給付引当金	3,084,793	3,136,492
役員退職慰労引当金	49,942	49,942
株式給付引当金	—	17,715
リース債務	531,472	506,452
その他	7,000	7,000
固定負債合計	5,398,909	5,242,359
負債合計	15,050,413	13,878,668
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,083,500	1,083,500
資本剰余金	1,123,802	1,134,560
利益剰余金	5,199,962	5,136,914
自己株式	△564,910	△557,873
株主資本合計	6,842,354	6,797,101
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	760,568	638,844
評価・換算差額等合計	760,568	638,844
純資産合計	7,602,923	7,435,945
負債純資産合計	22,653,336	21,314,614

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	27,785,587	26,400,946
売上原価	22,799,125	22,123,535
売上総利益	4,986,462	4,277,410
販売費及び一般管理費	4,572,119	4,518,105
営業利益又は営業損失(△)	414,342	△240,694
営業外収益		
受取利息	769	737
受取配当金	58,042	73,945
仕入割引	3,193	3,202
貸倒引当金戻入額	2,558	1,446
その他	37,710	31,447
営業外収益合計	102,275	110,778
営業外費用		
支払利息	9,547	3,872
その他	1,487	3,490
営業外費用合計	11,035	7,363
経常利益又は経常損失(△)	505,582	△137,279
特別利益		
固定資産売却益	160,366	—
投資有価証券売却益	—	286,531
特別利益合計	160,366	286,531
特別損失		
投資有価証券売却損	20,460	—
退職給付制度改定損	35,570	—
特別損失合計	56,030	—
税引前四半期純利益	609,919	149,252
法人税、住民税及び事業税	41,166	37,737
法人税等調整額	192,210	52,510
法人税等合計	233,377	90,247
四半期純利益	376,542	59,004

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、通信機器・電子機器・OA機器の販売施工、システムソフト開発およびこれらに関連するサポートサービスの単一事業を営んでいるため、記載を省略しております。